



2025年度第3四半期 決算説明資料

本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。

ご了承下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

本資料内で%表示をしているものに関しては、前年同期比の増減率となります。

日テレホールディングス

増収増益

- 売上、営業利益、経常利益、四半期純利益の全てにおいて過去最高
- 日本テレビのスポット、デジタルが大幅増収
- 日本テレビ事業収入はジブリ関連等のイベント収入が好調
- アニメ関連会社等の海外展開も加速
- AIの番組制作現場や営業など多角的な利用を推進

自己株式の取得と政策保有株の縮減

決算概況および業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資・AI関連

補足資料

自己株式の取得と政策保有株の縮減 等

自己株式取得

- 取得株式総数：2,601,900株
- 取得金額総額：9,999,767,084円
- 取得期間：2025年11月7日～2025年12月17日
*取得した全株式を消却しました

政策保有株の売却

- 上場有価証券 1 銘柄の一部を2025年10月に売却
投資有価証券売却益：58 億円
- 当該企業の業績、配当、株価など定量的側面を考慮の上、保有の合理性を検証した上で継続的な縮減を進める

株主名簿外の外国人等への配当は2024年3月31日の基準日から支払を開始しました

中期経営計画におけるキャッシュアロケーション

資本政策・株主還元方針

資本効率の向上と適切な株主還元

2025年度から2027年度の間に生み出すキャッシュフローで成長投資を賄い、収益基盤の拡大を目指します。

政策保有株を縮減し、総還元性向35%以上を新たな目標に株主還元を推進します。

果敢な投資を通じて成長戦略を推進し、企業価値の向上に邁進していきます。



政策保有株の売却

純資産残高の20%未満とすることを目指して売却を進める。

成長投資

「1,000億円の投資枠設定による成長支援の加速」に沿った投資を実行する。

設備投資・人的資本投資等

現有設備の更新を中心とした設備投資を実行するとともに、既存アセットの有効活用として、番町の再開発などを推進する。

2028年以降、成長戦略の起点となるアセット投資は、合計で1,000億円規模を想定する。日本テレビグループの人材は重要な資産と認識し、人的資本にかかる投資も推進する。

株主還元等

継続的で安定的な株主還元を基本方針としつつ、総還元性向35%以上を目指していく。株価動向等を勘案しながら、自己株式の取得も意識する。

またROEの向上につとめ、バランスシートマネジメントを強化する。

※手許現金の考え方

いかなる有事でも放送を維持するための緊急時資金2,000億円規模を手許資金として継続保有する。

2025年5月発表 中期経営計画2025-2027 より

自己株式の取得と政策保有株の縮減

決算概況および業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

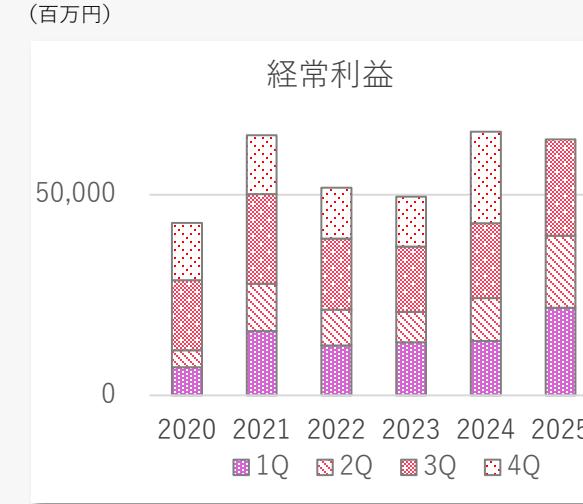
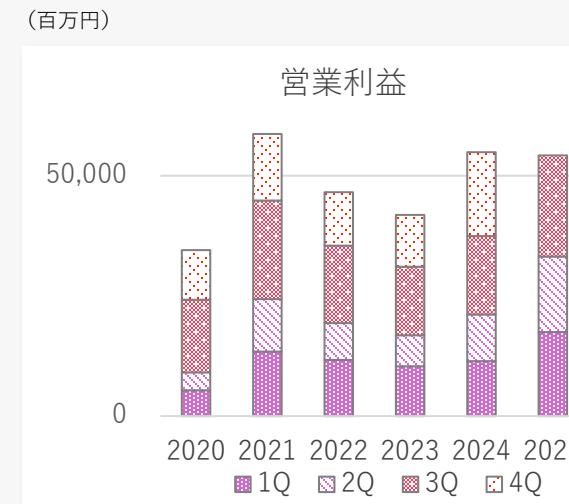
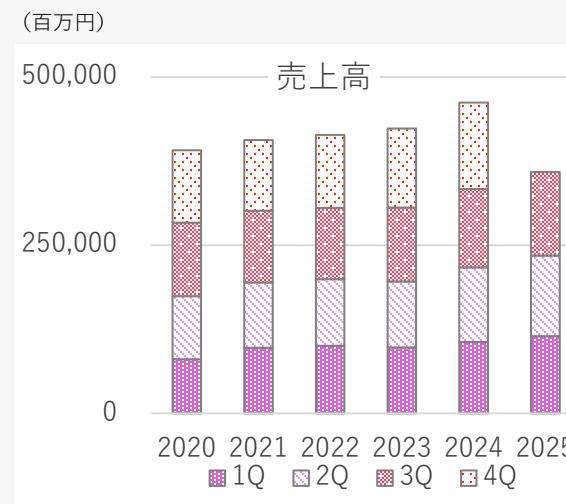
戦略的投資・AI関連

補足資料

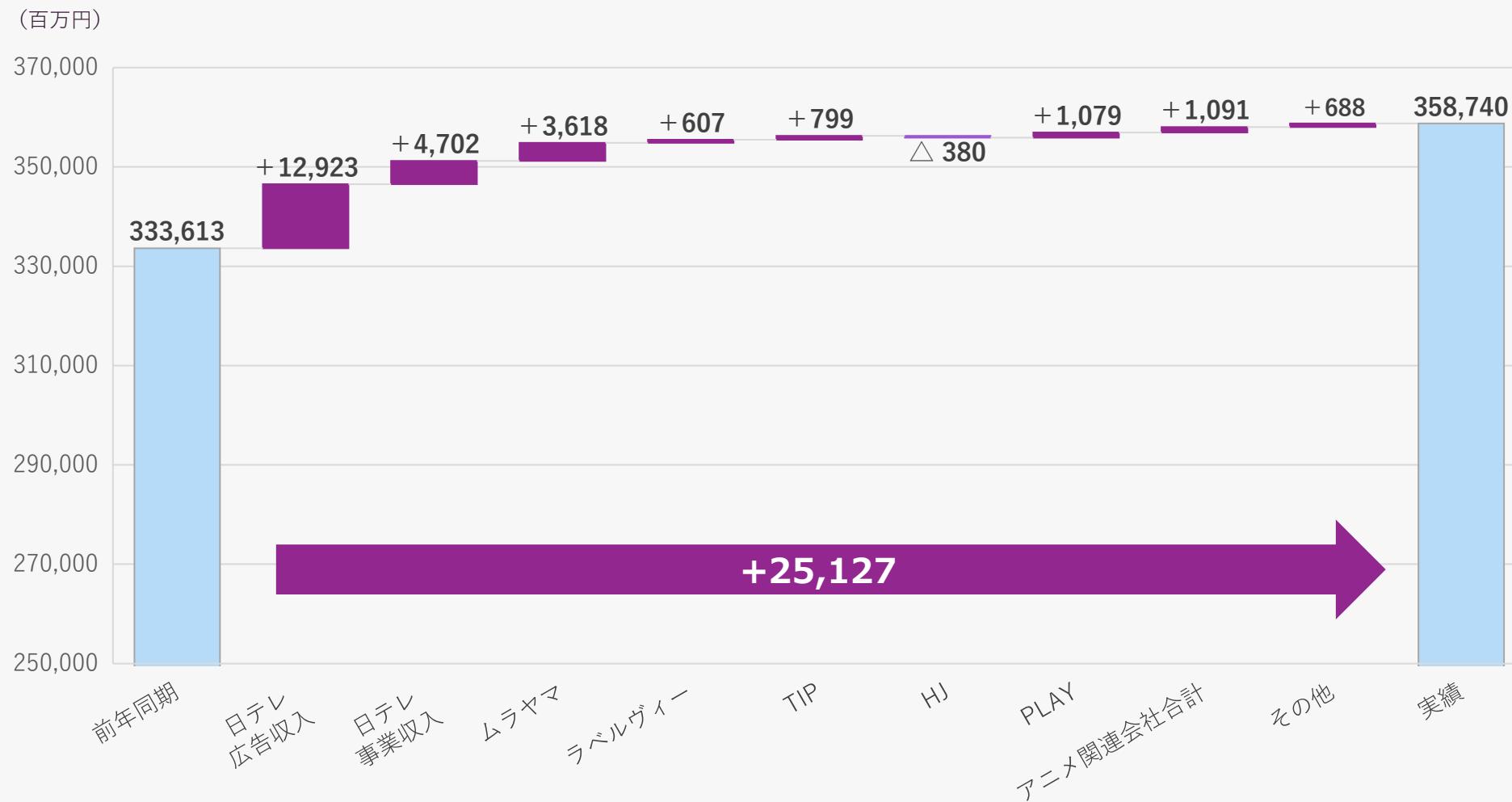
日本テレビホールディングス：連結決算

(単位：百万円)

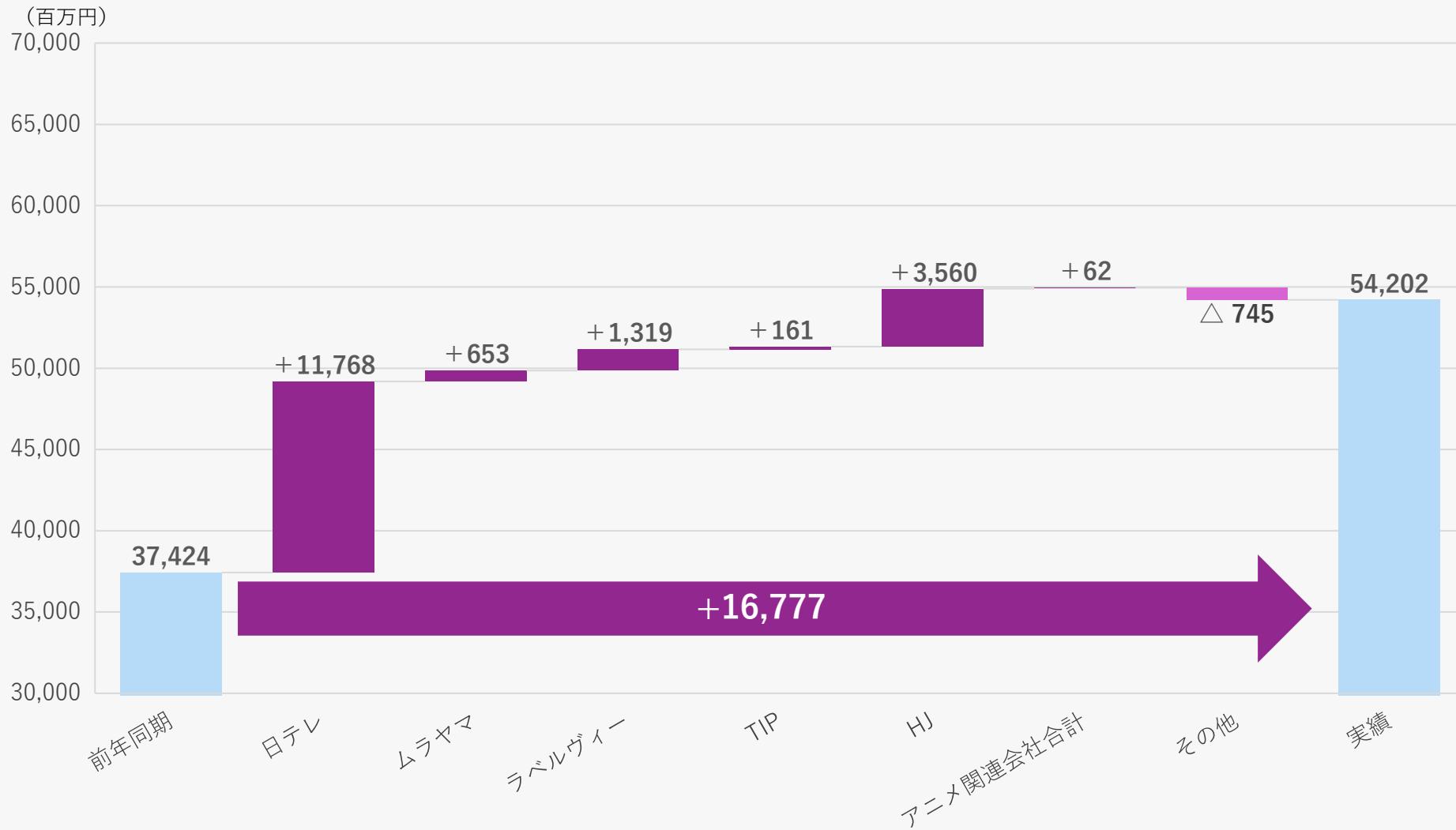
	2024年度 4-12月	2025年度 4-12月	前年差	増減率
売上高	333,613	358,740	25,127	7.5%
営業利益	37,424	54,202	16,777	44.8%
経常利益	42,935	63,760	20,824	48.5%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	29,521	46,423	16,902	57.3%



売上高の前年同期増減分析



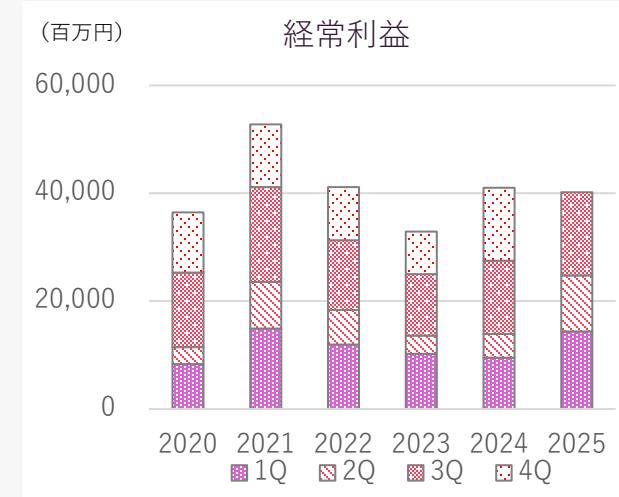
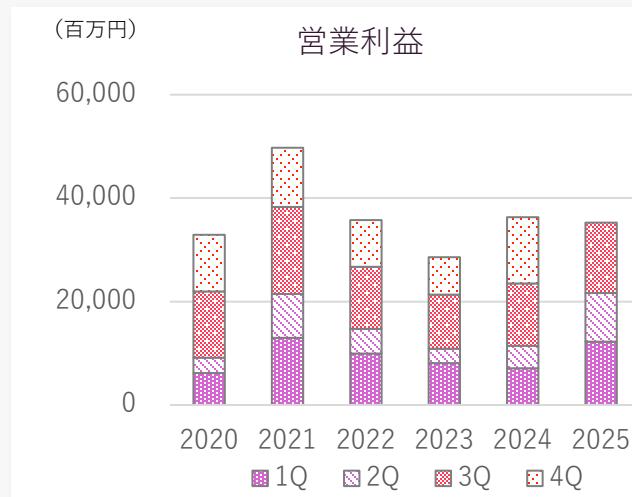
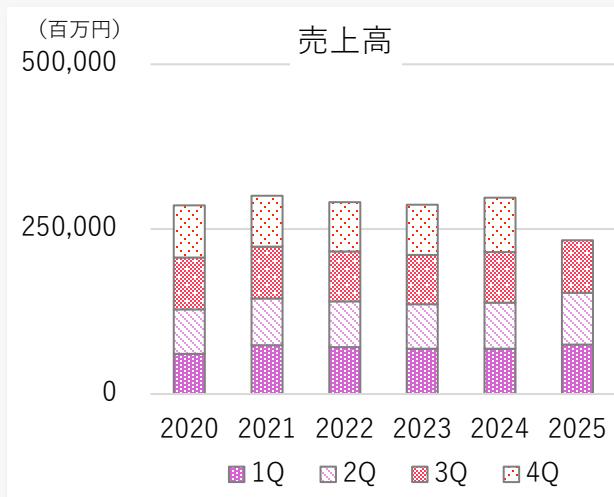
営業利益の前年同期増減分析



日本テレビ放送網：決算

(単位：百万円)

	2024年度 4-12月	2025年度 4-12月	前年差	増減率
売上高	215,393	233,324	17,931	8.3%
営業利益	23,477	35,245	11,768	50.1%
経常利益	27,501	40,207	12,705	46.2%
四半期純利益	23,215	31,912	8,696	37.5%



日本テレビ放送網：広告収入状況

(単位：百万円)

	2024年度 4-12月	2025年度 4-12月	前年差	増減率
広告収入	167,610	180,534	12,924	7.7%
タイム	76,599	76,394	△205	△0.3%
スポット	84,598	95,321	10,722	12.7%
デジタル広告	6,411	8,818	2,406	37.5%

2025年度広告収入前年同月比

タイム	増減率
4月	△1.4%
5月	1.7%
6月	0.5%
7月	△6.0%
8月	2.7%
9月	△4.7%
10月	2.8%
11月	3.3%
12月	△1.0%

スポット	増減率
4月	4.8%
5月	16.6%
6月	15.5%
7月	26.4%
8月	29.0%
9月	17.0%
10月	2.6%
11月	4.8%
12月	6.0%

デジタル広告	増減率
4月	35.7%
5月	23.9%
6月	72.6%
7月	76.7%
8月	41.0%
9月	63.9%
10月	22.3%
11月	21.6%
12月	18.5%

日本テレビ放送網：営業収支詳細

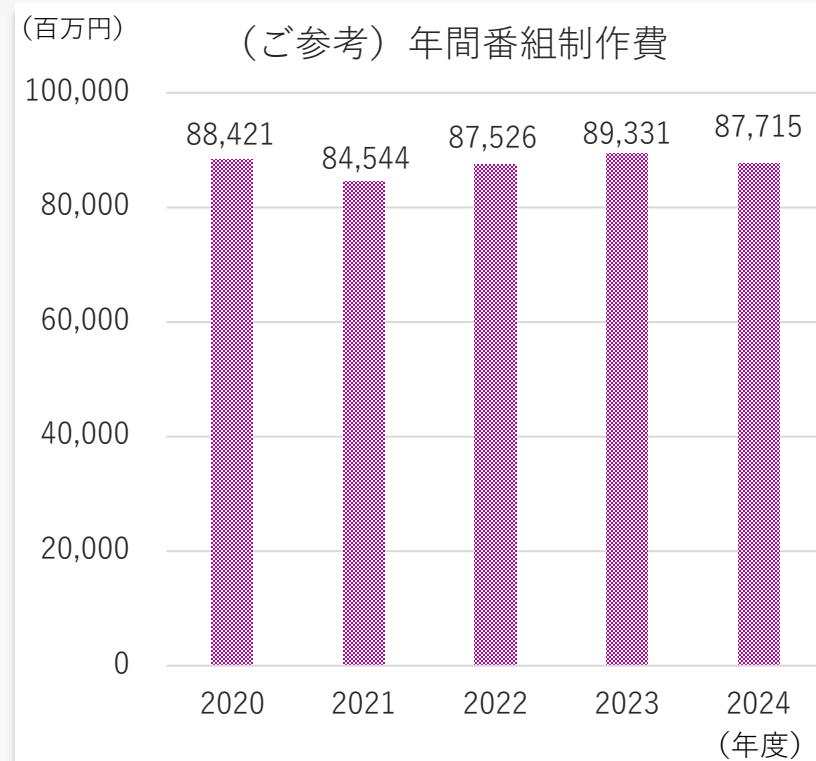
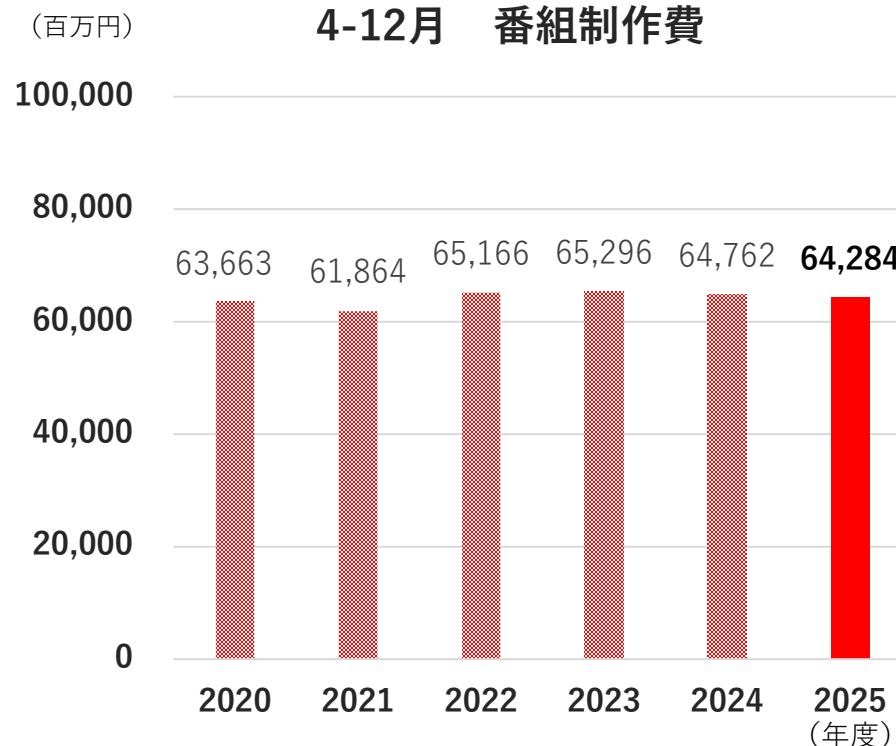
(単位：百万円)

営業収入	2024年度 4-12月	2025年度 4-12月	前年差	増減率
広告収入	167,610	180,534	12,924	7.7%
番組販売収入	7,993	8,281	288	3.6%
事業収入	37,428	42,130	4,702	12.6%
不動産賃貸収入	2,362	2,378	15	0.7%
合計	215,393	233,324	17,931	8.3%
営業費用	2024年度 4-12月	2025年度 4-12月	前年差	増減率
番組制作費	64,762	64,284	△478	△0.7%
人件費	16,196	16,184	△12	△0.1%
減価償却費	6,721	5,913	△808	△12.0%
事業費	34,617	39,521	4,904	14.2%
その他	69,620	72,177	2,556	3.7%
合計	191,916	198,079	6,162	3.2%

日本テレビ放送網：番組制作費

(単位：百万円)

2024年度 4-12月	2025年度 4-12月	前年差	増減率
64,762	64,284	△478	△0.7%



日本テレビ放送網：主な事業収支

(単位：百万円)	収入		収支		特筆点
	2025年度 4-12月	増減率	2025年度 4-12月	増減率	
アニメ	4,397	2.2%	2,009	25.4%	「薬屋のひとりごと」2期目配信も好調。 「HUNTER×HUNTER」配信・海外商品化も増加
映画	3,136	△20.0%	1,061	△41.4%	「果てしなきスカーレット」11月21日公開
ミュージック& アーティストセンター	3,272	△9.1%	555	45.7%	前年同期に大型興行が複数開催された反動減も、コストコントロールにより増益
イベント	6,968	126.5%	1,224	304.3%	ロンドン舞台「トトロ」、「モネ展」「久石譲コンサート」「ジブリ一体造形物展」「北斎展」が好調
リテールビジネス	7,186	6.9%	520	57.8%	通販枠増加や特番が好調で增收増益
海外ビジネス・ 配信ビジネス（除アニメ）	2,762	△9.9%	2,220	△14.9%	グローバルプラットフォームへのライセンスは増加も 前年度の一過性の収入計上の反動減あり
コンテンツビジネス等	2,528	157.2%	432	1,863.6%	配信向け受託ドラマの作成含め、ドラマの販売本数増加

* 旧「IPビジネス」は、社内の組織名称に合わせ「ミュージック&アーティストセンター」に変更

* 旧「海外番販（除アニメ）」は「海外ビジネス・配信ビジネス」に変更。なお、昨年売上的一部分は「コンテンツビジネス等」に振替
配信サイトへのドラマの売上は「コンテンツビジネス等」に計上

* 前期収支マイナスのものの増減率は(−)表記

主なグループ会社の状況

2025年度 4-12月

* 連結決算への影響がある会社を中心とした、日本テレビ放送網以外のグループ会社

(単位：百万円)

	BS日本		CS日本		日本テレビ音楽		バップ		ティップネス		ムラヤマ	
売上高	13,488	1.9%	6,553	△1.3%	7,743	12.8%	4,979	2.4%	20,658	4.0%	16,750	27.6%
営業利益	2,167	2.6%	93	△55.6%	1,905	10.4%	608	△19.3%	83	-	1,030	177.8%

	日本テレビ サービス		タツノコプロ		HJ ホールディングス		ACM		PLAY	
売上高	5,438	△13.8%	1,303	55.9%	24,080	△1.6%	4,169	3.4%	7,448	16.9%
営業利益	341	△63.9%	△67	-	3,165	-	1,036	△4.7%	1,381	47.9%

※前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は(−)表記

設備投資と減価償却

(単位：億円)

2025年度 4-12月	設備投資額	減価償却費
	83	88

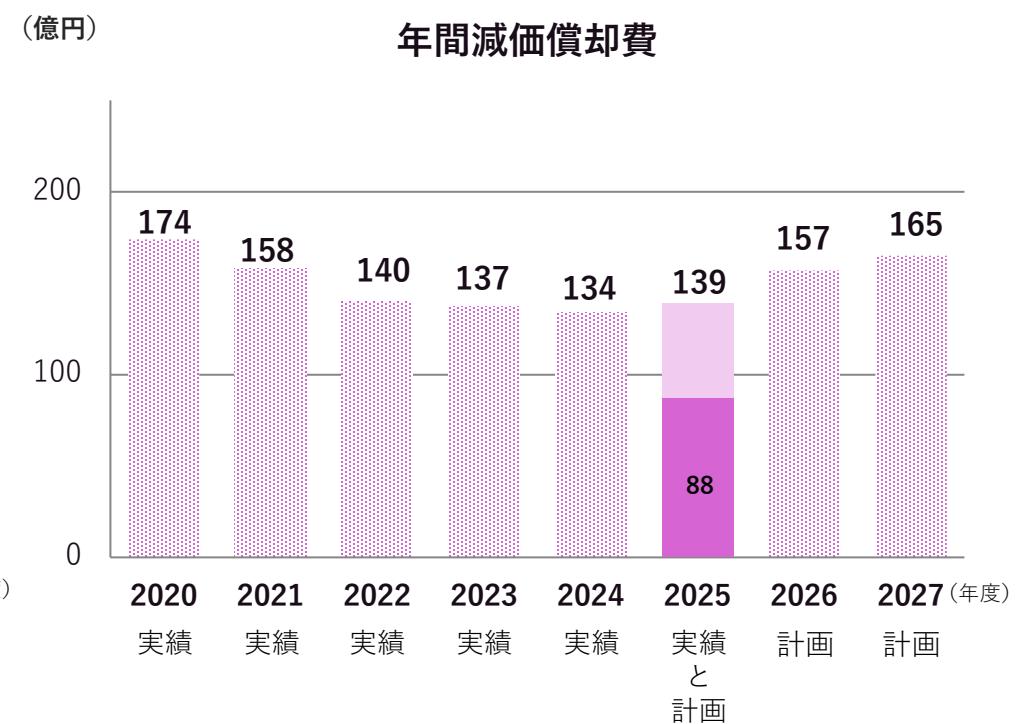
(億円)

年間設備投資額



(億円)

年間減価償却費



連結業績及び配当予想

※今回修正はありません

業績予想

(単位：百万円)

	2025年5月発表	2025年11月発表	増減	増減率
売上高	466,000	473,000	7,000	1.5%
営業利益	55,000	59,000	4,000	7.3%
経常利益	64,000	70,000	6,000	9.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	47,000	50,000	3,000	6.4%

配当

(単位：円)

	第2 四半期末	期末	合計
2025年度予想	10	30	40

2025年度 日本テレビ
地上波広告収入見込み（対前年増減率）

前提	2025年5月発表	2025年11月発表
タイム	△1.5%	△1.5%
スポット	2.3%	6.6%

自己株式の取得と政策保有株の縮減

決算概況および業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資・AI関連

補足資料

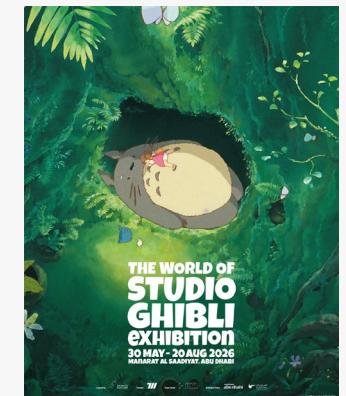
「Studio Ghibli's PONYO」 USA開催

アカデミー映画博物館では、『崖の上のポニョ』の伝統的な手描きアニメーション技術にフォーカスした展示「Studio Ghibli's PONYO」を開催。北米初公開を含む手描きの資料やポスターが展示されるほか、アニメーション制作を体験できるコーナーや、子供向けの没入型体験エリアなど、全年齢が楽しめる内容になっています。
2026年2月14日～2027年1月10日 ロサンゼルスのアカデミー映画博物館にて開催

「The World of Studio Ghibli Exhibition」 UAE開催

これまで韓国・台湾・香港・タイ・シンガポールと巡回してきた同展覧会がアブダビで開催されます。スタジオジブリのイベントが中東で開催されるのは初となります。
本展では『となりのトトロ』や『ハウルの動く城』など10作品の印象的なシーンを立体展示で再現し、没入感あふれる体験を提供します。

2026年5月30日～8月20日 アブダビのマナラット・アル・サディヤットにて開催



© 1988 Hayao Miyazaki/Studio Ghibli

「金曜ロードショーとジブリ展」

金曜ロードショーの歩みと共に、スタジオジブリ作品の魅力を辿る展覧会です。これまで国内9会場が終了し、秋田、三重、長崎、福島、静岡では県内の美術館・博物館の来場者数記録を更新しました。現在開催中の大分展は3月31日までとなり、愛媛、山口と続きます



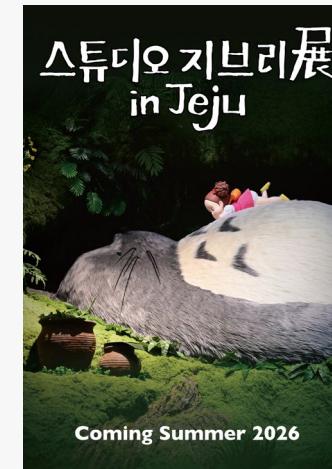
大分会場のようす



静岡会場のようす

「スタジオジブリ展 in チェジュ」

これまで韓国で数々のスタジオジブリ作品を配給してきた大元メディアが、今夏、韓国・済州島にて、大規模、かつ、特別な展覧会を開催します。映画の名シーンを表現した大型の立体造型物を中心に、作品の世界観を空間全体でも表現する展示を展開します



Coming Summer 2026

© Studio Ghibli

「ルーヴル美術館展 ルネサンス」

日本テレビとルーヴル美術館は、長期にわたるパートナーシップのもと、2005年から大規模な展覧会を実施しており、これまで計6回の展覧会で来場者数は550万人にのぼります。

「ルネサンス」をテーマにした本展は、15世紀初めにイタリアで花開き、16世紀にかけてヨーロッパ各地で隆盛したルネサンス美術の本質的な特徴を、ルーヴル美術館のコレクションから厳選された50点余りの作品を通して浮き彫りにしようとするものです。

今回の注目点は、レオナルド・ダ・ヴィンチによる女性肖像画の傑作、通称《美しきフェロニエール》が初来日すること。レオナルドの真筆とされる油彩画は15点ほどしか現存しません。ルーヴル美術館にはそのうち5点が所蔵されており、そのうちの肖像画の傑作の一つ【《女性の肖像》、通称《美しきフェロニエール》】が日本で初めて公開されます。今回このような貴重な作品が来日するため、巡回はなく東京1会場のみの開催となります

【会期・会場】

東京展：2026年9月9日 - 12月13日 六本木・国立新美術館



レオナルド・ダ・ヴィンチ《女性の肖像》、誤って付された別称《美しきフェロニエール》1490-1497年頃 油彩/板
Photo © GrandPalaisRmn (musée du Louvre) / Michel Urtado

「ポケモンユナイトアジアチャンピオンズリーグ 2026」(通称：PUACL2026)

グループステージ：2025年11月23日～2026年2月8日 ※オンライン

プレイオフ：2026年2月15日 ※オンライン

FINALS：2026年3月28日/29日 会場：横浜BUNTAI

2021年にポケモン社よりリリースされたチーム戦略バトルゲーム「ポケモンユナイト」のアジア王者を決めるポケモンユナイト公式国際大会。日本大会では全12チームが『PUACL2026 FINALS』の出場権獲得に向けてリーグ戦を戦い、FINALSでは世界からの招待チームに加え、東南アジア地域・インド地域の予選を勝ち抜いた全16チームから優勝を決定します



「ガウディ没後100年公式事業 NAKED meets ガウディ展」

日程・会場：【東京】2026年1月10日～3月15日/寺田倉庫G1ビル（天王洲）

【大阪】2026年4月17日～6月15日/VS.（グラングリーン大阪内）

アントニ・ガウディの没後100年とサグラダ・ファミリアのメインタワー「イエスの塔」完成という歴史的節目に合わせて、ガウディ財団の監修・協力のもとに企画された日本初の大規模な公式展覧会です。会場では、体験型・参加型アートを通じて、ガウディの哲学や創造性、建築の構造美を“体験する”新たな空間を展開します



「東和薬品 presents 羽生結弦 notte stellata 2026」

日程：2026年3月7日・8日・9日

会場：宮城・セキスイハイムスーパーアリーナ

東日本大震災から15年を迎える2026年3月に4度目の開催となるアイスショー。羽生結弦が座長を務め、毎年3月に世界で活躍するプロスケーターの仲間たちと共に、被災地・宮城から希望を届けています。地元仙台で震災にあった羽生自身が、停電の夜に見た美しい星空に希望を感じたことから「notte stellata」と名付けられました



「HANA」

新人にして日本中を席巻するトップランナー！

「1億回再生」国内女性グループ史上最多記録を更新！

2025年デビュー以来、HANAはBillboard Japanチャートで2億回再生を記録した『ROSE』
『Blue Jeans』を筆頭に、計5曲がミリオン超え。

デビュー1年目から女性アーティストとして令和初となる「年間売上20億円突破」も達成



「D.U.N.K.」

日本最大のDANCE&VOCAL FES！”常識を壊し、国境を越える”

D.U.N.K.が切り拓く『アジア・ボーダーレス経済圏』の新時代

2023年に始動した「D.U.N.K.」は、事務所やグループの垣根を越えたコラボレーションという「業界の構造改革」を断行し、音楽シーンのスタンダードを確立しました。

第4弾となる今回、D.U.N.K.はついに国境を越えます。2026年3月に開催される第4弾は2万人キャパのKアリーナにて3Daysを敢行し完売！また、今回の公演にはフィリピンやタイから現地トップアーティストが参戦。国内外のスターが「D.U.N.K.」の名の下に集結し、国籍を超えたシナジーを生み出します。アジア全域のファンベースを統合するグローバル戦略の布石。世界基準のカルチャーを日本から発信し、収益成長へ進みます



進化するスター創出のプラットフォーム ヒットを『現象』から『システム』へ。 テレビ局が仕掛ける、全方位型スター・パイプライン

2025年からは自社レーベル機能も本格始動。オーディションのみならず、**独自に発掘・育成するあらゆる次世代グループ**の価値を最大化すべく、パートナーシップと自社機能を融合させたハイブリッドな支援体制を推進します

・魂を揺さぶる「T.N.T」の共鳴：

手越祐也率いるロックバンド「T.N.T」は、高校サッカーのテーマ曲を担い、その圧倒的な実力と話題性で、幅広い層へブランドを浸透させています。

・熱狂から生まれた「TAGRIGHT」：

広く注目された『タイプロ』に参加していた西山・前田が自ら結成した7人組。4日間のショーケースを成功させた彼らの勢いは、物語（ストーリー）が持つ経済的価値を証明しています

・次なる主役「CIRRA」の胎動：

オーディション『ガルバト』から選抜された10人。プレデビュー曲の好調な滑り出しは、HANAに続く「第2の爆発」を予感させます。

2026年、私たちはこれら多角的なポートフォリオにより、一過性のヒットではない「持続的かつ爆発的な成長」を現実のものとします



興行ビジネスの拡張！ 放送から『体験』の覇者へ。 テレビ局の常識を塗り替える、日本最大級の興行プラットフォーム戦略

2026年第4四半期、3ヶ月毎週連続で繰り出される大型興行ラインナップは、圧倒的な事業規模となります

3ヶ月連続、多ジャンル同時多発の興行ラッシュ：

- 1月：**期待の新星「TAGRIGHT」のショーケース、舞台「キャッテリア」、T.N.Tの初全国ツアー、さらに「with MUSIC LIVE」や「乃木坂スター誕生！」「セラピーゲーム」と、アイドル・ロック・舞台・番組連動イベントを網羅
- 2月：**アーティストの競演をプロデュースする「BEAT AX VOL.9」
- 3月：**市場をリードする「D.U.N.K.」、そして注目の「VS.超特急 LIVE」

2026年4月、未踏の「スタジアム・フェーズ」へ：興行ビジネスの集大成として、4月にはスタジアムでの超大型イベントを敢行。アリーナ級を超えて、数万人規模の動員を日常化させる「スタジアム・プラットフォーマー」へと飛躍します

この規模と密度で興行を自社主導できる放送局は、国内ではほかに存在しないと自負しています。
放送・配信・ライブを垂直統合したのビジネスモデルで、エンターテインメントの収益構造を再定義します

大ヒットアニメシリーズ『転生したらスライムだった件 蒼海の涙編』、
昨年興収146億円を記録した『名探偵コナン ハイウェイの墮天使』がいよいよ公開。
夏には累計興収245億円『キングダム』シリーズ最新作に加え、
12月には名曲誕生の秘話を描く『SUKIYAKI 上を向いて歩こう』が控えており、
2026年は多彩なラインナップ！



©川上泰樹・伏瀬・講談社/転スラ製作委員会 ©2026 青山剛昌/名探偵コナン製作委員会

2月には前作が興行収入14億円の大ヒットとなった人気シリーズの劇場版最新作『劇場版 転生したらスライムだった件 蒼海の涙編』が公開。そして4月のGWには前作が146.6億円の超大ヒットとなった劇場版第29弾『名探偵コナン ハイウェイの墮天使』が公開。

そして、夏には前作が80億円を突破する特大メガヒットとなった『キングダム』シリーズの第五弾となる最新作がいよいよ公開。

また、12月には世界的なヒット曲「上を向いて歩こう (SUKIYAKI)」の制作の裏に秘められた六八九トリオ（永六輔、中村八大、坂本九）の友情と葛藤を描く感動の大作映画、『SUKIYAKI 上を向いて歩こう』が公開。

今からおよそ60年前の1963年、全米ビルボードチャートで日本人が歌う曲が3週連続1位の快挙を樹立。いまだ世界中で愛され続ける名曲の誕生秘話を岡田准一主演、松坂桃李、仲野太賀ほか豪華キャスト陣共演で描きます。このほかにも、多くのラインナップを予定しています



©原泰久/集英社 ©2026映画「キングダム」製作委員会

【2026年1月期放送作品紹介】

「葬送のフリーレン」

累計発行部数3,500万部を突破した大人気原作のアニメ第2期。2023年9月に「金曜ロードショー」で幕を開けた第1期は「アニメ史に残る傑作」と国内外で絶賛されました。第2期も圧倒的な映像美と繊細な演出は健在。フリーレンの新たな「人を知る旅」が始まります



©山田鐘人・アベツカサ／小学館／
「葬送のフリーレン」製作委員会



©ナカシマ723／ロケット商会／
リード社・製作委員会のケズ

「勇者のケズ」

21世紀半ばの東京。魔力強化で《魔王》となったマフィアを狩る賞金稼ぎ、
《勇者》。フリーの勇者《死神》ヤシロのもとに見習い勇者の女子高生・城ヶ峰
が押しかけ、ロクでもないことが次々に！ケズの「師匠」と自称「弟子」による、
弩級現代異能アクション開幕！



©春紫／バカー／アルネ探偵事務所

「アルネの事件簿」

大反響の本格推理ゲームが待望のアニメ化！“伝説の吸血鬼”アルネ・ノインテーター
と、“吸血鬼オタクの貴族令嬢”リン・ラインヴァイスが、次々と巻き起こる奇々
怪々な事件の真相に迫る、本格ミステリ&ゴシックファンタジー

【日テレ系アニメ枠「フライアニア」4月期から1時間に拡大、2作品連続放送に】

2023年10月からスタートし、金曜の夜に様々なアニメ作品を送り出してきたフライアニア枠が、4月から1時間に拡大。従来の23時放送のフライアニア2300、そして新設された23時30分放送のフライアニア2330の2枠にパワーアップします！

「フライアニア」ラインナップ

2026年1月期：『葬送のフリーレン』第2期

2026年4-7月期：『転生したらスライムだった件』第4期（4月3日スタート 毎週金曜23:00～）

2026年4月期：『スノウボールアース』（4月3日スタート 毎週金曜23:30～）

2026年7月期：『これ描いて死ね』（毎週金曜23:30～）

※10月期以降は随時解禁となります



1月の記者会見に『葬送のフリーレン』からフリーレン役を務める種崎敦美、『転生したらスライムだった件』から、リムル＝テンペスト役を務める岡咲美保、『スノウボールアース』から 流鏑馬 鉄男を演じる吉永 拓斗、『これ描いて死ね』から安海 相を演じる関根明良の4人が作品の枠を超えて集結しました



©山田鐘人・アベツカサ／小学館／
「葬送のフリーレン」製作委員会



©川上泰樹・伏瀬・講談社
／転スラ製作委員会



©辻次夕日郎／小学館／
「スノウボールアース」製作委員会



©とよ田みのる／小学館
／王島南高校漫研

海外ビジネス展開

自社技術「AiDi」を米NBC Sportsが採用決定

- ・独自AI技術「viztrick AiDi」は、AIを用いて映像や音声のコンテンツ解析をリアルタイムにおこなうシステムです
- ・スマートフォンの普及に伴い、スポーツ中継で縦型（9:16）での視聴体験が求められるなか、アメリカ3大ネットワークの一つであるNBC Sportsは、従来の放送用映像からアスリートを自動的に抽出し、モバイル向けに最適化して配信する高度な技術として「AiDi」の導入を決定しました。2026年から開始される複数のライブイベント中継で使用される予定です

グローバルで大人気のクイズフォーマットの日本版制作により海外企業との関係強化へ

- ・オランダのタルパ・スタジオが開発し、欧米などで15以上の現地版が制作されている世界的クイズフォーマット「ザ・フロア」の日本版を制作。今後の相互展開への足掛かりとなります

LAビジネスオフィスの開設

- ・25年7月に設立したLA ビジネスオフィスのローンチパーティーを11月、ハリウッドにある「JAPAN HOUSE Los Angeles」で開催しました。ハリウッドの大手スタジオ、放送局、プロデューサーを中心に、現地の日系企業および日本人コミュニティから約100名を迎え、オフィスおよびバラエティフォーマットを開発する「GYOKURO STUDIO」、新作コンテンツを披露しました



日テレバラエティーが「ローズ・ドール賞」受賞！

バラエティー番組『ANTS～ぜんぶ運べば一攫千金～』が2025年12月、ヨーロッパで最も権威ある国際テレビ賞の1つ「ローズ・ドール賞」で「最優秀コメディエンターテインメント賞」を受賞。審査員からは「幅広くファミリー層を魅了する独創的なアイディアで、非常に面白おかしい」と評価され、今回の受賞作品の中で唯一のアジア作品となった。

同アワードの最優秀賞を日本テレビの番組が受賞するのは初。尚、『ANTS～ぜんぶ運べば一攫千金～』のフォーマットは、日本テレビとイギリスの大手配給会社フリーマントル社と共に海外へ向けセールス中

※ローズ・ドール賞：EBU（欧州放送連合）とイギリスのコンテンツ業界誌C21 Media主催の世界のテレビおよびエンターテイメントにおける卓越性と革新性を称える賞。1961年創設

<ANTS～ぜんぶ運べば一攫千金～>



受賞発表



番組映像より

自己株式の取得と政策保有株の縮減

決算概況および業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資・AI関連

補足資料

2025年 年間視聴率状況

2024/12/30～2025/12/28

	個人視聴率	コア視聴率
全日 (6～24時)	3.4	2.2
プライム (19～23時)	4.8	3.7
ゴールデン (19～22時)	5.2	4.0
モーニング (7～10時)	3.6	2.5
プラチナ (23～25時)	2.2	1.6



「モーニング」とは？

個人視聴率・コア視聴率ともにプライム帯に次いでPUTが高い「朝帯」の重要性を今一度意識するため、「モーニングタイム」を新設しました。
中長期的にはリアルタイム視聴の核となる「生放送情報番組」の重要性を、あらためて意識することが目的です。これに伴い、「ノンプライム（全日帯のうちプライム帯を除く時間帯）」は撤廃しました

テーマ 「誰かと見たい、が、一番見たい。」

「新しさ」「熱量」「親子・家族の時間」を届け、人が集まるコンテンツを放送します。
コンテンツのファン、日テレのファンが増えることを目指します

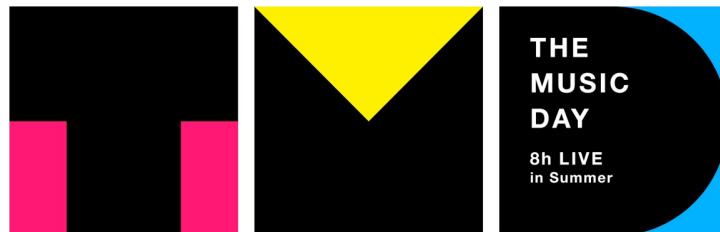
大型単発特番

THE MUSIC DAY

ダブルインパクト 漫才＆コント二刀流No.1決定戦

24時間テレビ

ほか、誰かと見たくなる“祝祭性コンテンツ”を2026年も多数放送予定



大型スポーツイベント

2026ワールドベースボールクラシック

長年培ってきた野球中継の制作力とプロモーション力でWBC2026を盛り上げます！

3月5日から行われるWBCでは、侍ジャパンが参戦する1次ラウンドPOOL C（於東京ドーム）ならびに準々決勝・準決勝・決勝（於アメリカ）の中継制作を日本テレビが受託します。また独占ライブ配信するNetflixと「プロモーションパートナー」として連携し、大会の盛り上げを行います。

WBCという国民的関心事を広く聞く伝え、野球文化の更なる醸成に寄与できると考えています。
開幕特番なども併せて、多くの方々にお楽しみいただけるよう準備を進めてまいります

FIFAワールドカップ2026

日本代表のグループステージ第2戦「チュニジア×日本」を含む、計15試合を放送予定！

6月から7月にかけて北中米3か国16都市で開催される「FIFAワールドカップ2026」を地上波生中継します。決勝トーナメント進出の鍵を握るグループステージ第2戦の対戦相手は北アフリカの強豪チュニジア。「史上最強」の呼び声高い森保ジャパンがどんな戦いを見せてくれるのか。日本時間 6月21日(日) 13時キックオフです！

先々注目の連続ドラマ

俺たちの箱根駅伝

お正月の風物詩でもある箱根駅伝を、直木賞作家・池井戸潤が
十余年の歳月と情熱のすべてを注いで描いた

「もう二度と、こんな小説は書けないでしょう」とまで語る
一度は敗れた者たちの熱き青春群像劇「俺たちの箱根駅伝」がドラマ化。

池井戸の渾身の一作を1987年以来、箱根駅伝を生中継し続けてきた日本テレビが、
主催・関東学生陸上競技連盟の全面協力を得て贈る、前人未到の映像プロジェクト



メリーベリーラブ（仮題）

ドラマ「愛の不時着」「涙の女王」をはじめ、数々の世界的なヒットドラマを
生み出してきたCJ ENMと日本テレビが初めてタッグを組む共同制作ドラマ。

大失敗した韓国の空間プランナーのイ・ユビン（チ・チャンウク）と
イチゴ栽培に励む若き農業女子・白浜夏凜（今田美桜）が、日本の美しく
自然豊かな島を舞台に繰り広げるロマンティックコメディ



自己株式の取得と政策保有株の縮減

決算概況および業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資・AI関連

補足資料

配信事業：TVer (AVOD)



TVer 状況

◆ UB数 : 10月 2,731万 11月 2,975万 12月 3,381万
再生数: 10月 5.4億 11月 5.8億 12月 6.5億 ※月間再生数・歴代最高

日本テレビの取組

11月・12月で見逃し配信の月間再生数1億超え！

バラエティジャンル 累計1億4,100万再生突破！

「月曜から夜ふかし」「上田と女が吠える夜」

「世界の果てまでイッテQ！」「上田と女がDEEPに吠える夜」等の人気バラエティが引き続き好調！

特に「月曜から夜ふかし」累計 1,606万再生、「上田と女が吠える夜」累計 1,522万再生。



ドラマジャンル

「良いこと悪いこと」日本テレビドラマで歴代最高！累計 4,428万再生

大型特番

- ・「ベストアーティスト(11/29 OA)」480万再生
- ・「女芸人No.1決定戦 THE W 2025 (12/13 OA)」188万再生



※TVer DATA MARKETINGにて算出

日本テレビの取組

スポーツ

- 「**高校サッカー**(地区大会決勝・全国大会等)」再生数、UB数の数値で過去最高記録更新
※累計 1500万再生 UB数215万UB (昨年 1300万再生 UB数206万UB)
※47社共同事業として、地区大会決勝、全国大会準決勝および決勝において、トライアルとして高校サッカーで初となるコネクテッドTVでのライブ配信を実施
- 「**箱根駅伝**」往路復路共に、再生数、UB数、最大同時接続数の数値で過去最高記録更新
※往路 SPL配信 UB数 93.7万UB (昨年69.5万UB・昨年比134%)
復路 SPL配信 UB数 114.8万UB (昨年 84万UB・昨年比136%)
※往路、復路共にTVerSPL配信、10区間の分割VOD配信を実施
箱根駅伝公式サイトでも各大学の出場選手情報や現在位置などの最新情報を随時更新した他、中継所定点カメラ配信などを実施、多くのユーザーにリッチな情報を提供
- 「**日本シリーズ 第4戦**」累計 170万再生



※TVer DATA MARKETINGにて算出

配信事業：HJホールディングス

(単位：百万円)	売上高	営業利益
2025年度 第3四半期（4-12月）	24,080	3,165

土曜ドラマ「良いこと、悪いこと」が大ヒット！

- ・10月クールの日テレ系土曜ドラマ「良いこと、悪いこと」は、 Hulu視聴人数ランキングにおいて全話で1位を獲得し、極めて好調に推移
- ・第9話放送後に9.5話、最終話（第10話）放送後に10.5話となる
Huluオリジナルストーリーを独占配信
⇒視聴熱量の維持や拡張、新規有料会員獲得に大きく貢献



Huluオリジナル「時計館の殺人」を2026年2月から独占配信！

全世界シリーズ累計750万部突破の大ベストセラー原作・綾辻ミステリーを再び完全実写化。2024年に独占配信し大きな反響を呼んだ「十角館の殺人」に続く第2弾として「時計館の殺人」を2026年2月より独占配信！



自己株式の取得と政策保有株の縮減

決算概況および業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資・AI関連

補足資料

AIドラマ「TOKYO巫女忍者」

KANAMELとのコンテンツ協業第一弾として、実写映像と生成AI映像を融合させたAI×実写ドラマを制作し、1月7日に放送・TVer/Hulu配信しました。

KANAMELグループの制作プロダクションAOI Pro.とVFXプロダクションTREE Digital Studioが参画。社内外のクリエイターの制作力とAI知見を結集し、ドラマ映像表現の大幅な拡張に取組むことで、新たな制作プロセスにおける生成AIの活用可能性を検証し、クリエイティブ強化への学びを得ました



番組制作へのAI活用～ZIP！『?よミトく！』～

AIエージェントによる『知的資産』の構造化と競争優位性の確立

【目的】 人的資本の最適化：AIが定型業務を代替し、クリエイターは高付加価値業務に集中



番組内のコーナー企画『?よミトく！』ワークフロー改革例

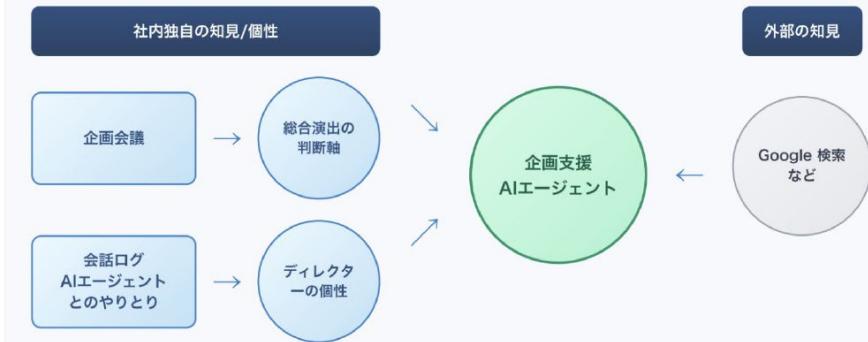
従来のワークフロー

役割 (Role)	企画案を提案する	企画書を作成する	企画を決める	見せ方を決める	ロケ	VTR/原稿	O.A.
ディレクター	ネタ探し 複数案構想 ブラッシュアップ	企画書作成	企画を採択する	見せ方を決める	ロケ	VTR/原稿	O.A.

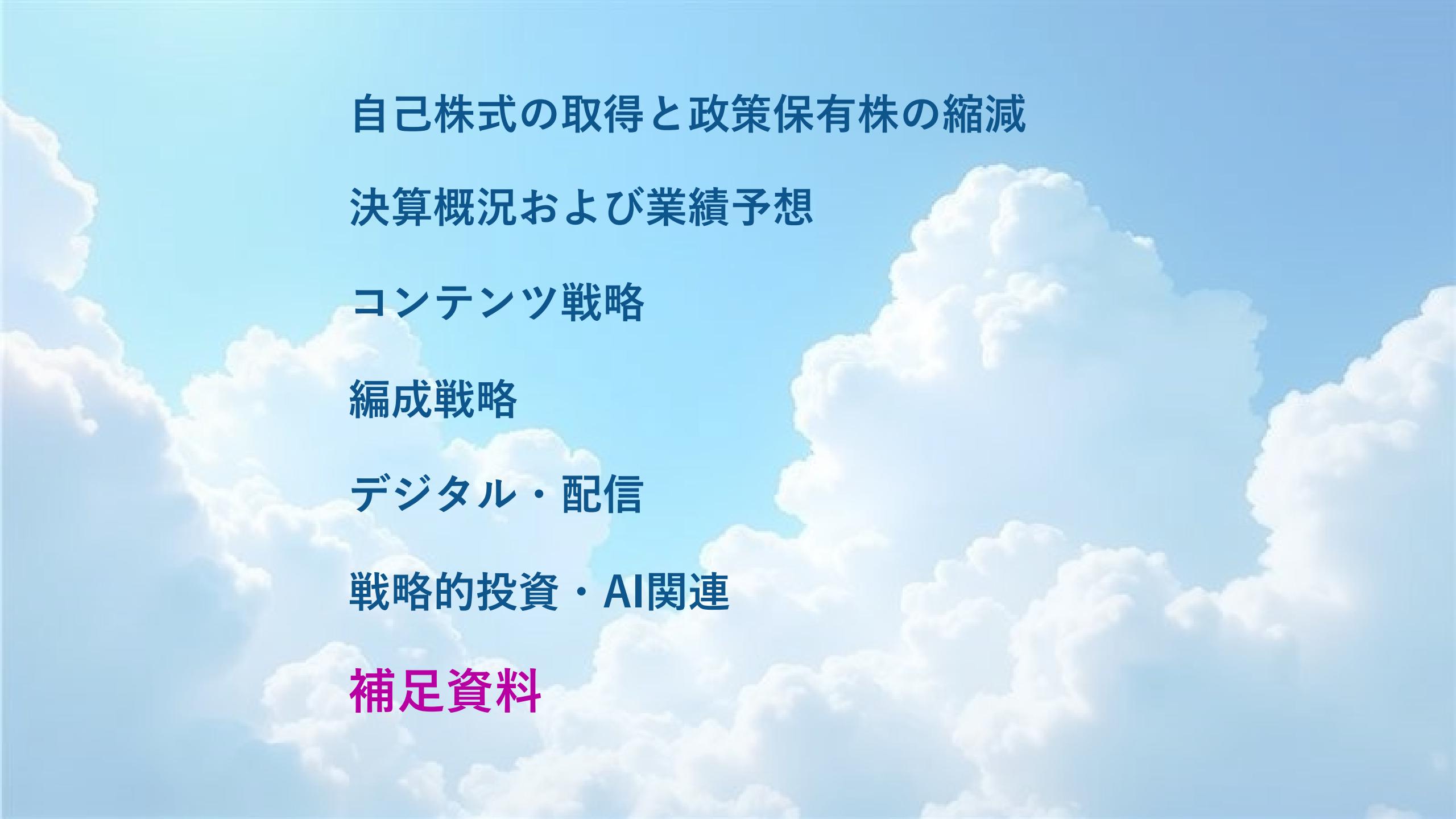
AIエージェント導入後のワークフロー

役割 (Role)	企画案を提案する	企画書を作成する	企画を決める	見せ方を決める	ロケ	VTR/原稿	O.A.
AIエージェント ディレクター	ネタ探し 企画案提案	企画書作成		見せ方を提案する			

企画支援エージェントのコンセプト



- AIエージェントがネタ探しから企画提案、企画書作成まで担当し企画決定までのプロセスを大幅短縮
- 社内の知見とディレクターの個性、外部の情報を企画エージェントが統合し、最適な企画提案を実現



自己株式の取得と政策保有株の縮減

決算概況および業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資・AI関連

補足資料

日本テレビ放送網 スポットセールス出稿業種別比較

スポットセールス

出稿業種別比較

2024年度 4-12月		シェア	増減率
1	サービス	16.5%	10.2%
2	化粧品・トイレタリー	12.1%	16.8%
3	通信・ゲーム	8.4%	△ 13.7%
4	金融・保険業	5.6%	△ 1.0%
5	電気機器	5.2%	24.3%
6	アルコール飲料	4.8%	5.5%
7	薬品	4.7%	6.3%
8	輸送機器	4.5%	36.5%
9	映画・演劇興行	4.4%	△ 12.3%
10	住宅・建材	4.2%	10.9%

2025年度 4-12月		シェア	増減率
1	サービス	18.0%	22.7%
2	化粧品・トイレタリー	11.8%	10.1%
3	通信・ゲーム	9.2%	24.2%
4	金融・保険業	6.2%	23.7%
5	薬品	4.8%	16.2%
6	アルコール飲料	4.7%	10.8%
7	流通・小売業	4.6%	47.5%
8	電気機器	4.3%	△ 7.2%
9	輸送機器	4.3%	6.9%
10	住宅・建材	4.1%	9.7%

セグメント別 実績

(単位：百万円)

	売上			営業利益		
	2024年度 4-12月	2025年度 4-12月	増減	2024年度 4-12月	2025年度 4-12月	増減
コンテンツ・メディア事業	310,605	335,106	24,501	35,439	52,604	17,165
ウェルネス事業	19,858	20,693	835	0	△177	△177
不動産関連事業	8,487	8,572	84	3,281	3,134	△147

2026年 映画事業の主なラインナップ ①

★=日テレ幹事作品
●=共同幹事作品
■=出資作品

公開	作品名	配給	備考	
2/27 (金)	■劇場版 転生したらスライムだった件 蒼海の涙編	BNF	<p>2022年にシリーズ初の劇場版を公開し興収14億円を記録。2024年にはTVアニメ第3期を全国放送し、第4期制作もすでに決定。</p> <p>シリーズ累計発行部数5,600万部、全世界総再生回数20億回を突破している超人気転生エンターテインメントの劇場版第2弾！</p> <p>原作：川上泰樹・伏瀬・みつばー『転生したらスライムだった件』（講談社「月刊少年シリウス」連載） 原案・監修：伏瀬 声の出演：岡咲美保、豊口めぐみ、前野智昭、泊明日菜、大西沙織、小坂奈緒、藤嶌果歩、堂本光一ほか ©川上泰樹・伏瀬・講談社/転スラ製作委員会</p>	
4/10 (金)	■名探偵コナン ハイウェイの墮天使	東宝	<p>青山剛昌原作「名探偵コナン」の劇場映画第29弾 風の女神 VS 黒き堕天使 旋風巻き起こす史上最速バトルミステリー、いざ開戦！！</p> <p>原作：青山剛昌「名探偵コナン」（小学館「週刊少年サンデー」連載中） 監督：蓮井隆弘 脚本：大倉崇裕 キャスト：高山みなみ 山崎和佳奈 小山力也 ほか ©2026 青山剛昌／名探偵コナン製作委員会</p>	
4/17 (金)	★人はなぜラブレターを書くのか	東宝	<p>2000年に起きた日比谷線脱線事故で亡くなった高校生の少年の身に起きた奇跡のラブストーリーをベースとした感動の物語。</p> <p>脚本・監督：石井裕也 出演：綾瀬はるか 當真あみ 細田佳央太 妻夫木聰 音尾琢真 菅田将暉 佐藤浩市 © 2026映画「人はなぜラブレターを書くのか」製作委員会</p>	

2026年 映画事業の主なラインナップ②

★=日テレ幹事作品
●=共同幹事作品
■=出資作品

公開	作品名	配給	備考	
夏	●キングダム5 (仮題)	東宝	<p>シリーズ累計興収245億円突破！超人気シリーズ映画の第五弾！天下の大将軍を目指す青年と中華統一を志す大王が繰り広げる壮大なアクションエンターテイメント！大将軍の意思を引き継いだ者たちが再び立ち上がる——新章開幕！</p> <p>原作：原泰久「キングダム」（集英社「週刊ヤングジャンプ」連載） 監督：佐藤信介 脚本：黒岩勉 原泰久 出演：山崎賢人 吉沢亮 ほか</p> <p>©原泰久/集英社 ©2026映画「キングダム」製作委員会</p>	
12/25 (金)	★SUKIYAKI 上を向いて歩こう	東宝	<p>世界的なヒット曲「上を向いて歩こう (SUKIYAKI)」の制作の裏に秘められた六八九トリオ（永六輔、中村八大、坂本九）の友情と葛藤を描く感動の音楽映画</p> <p>監督：瀬々敬久 脚本：港岳彦 キャスト：岡田准一 松坂桃李 仲野太賀</p>	